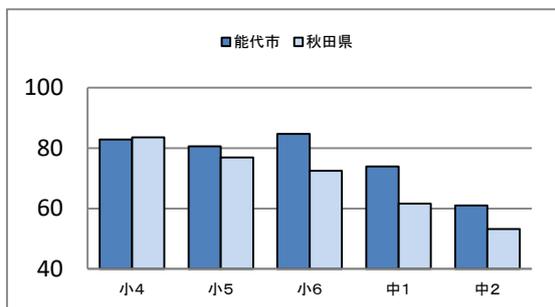


Ⅲ 質問紙調査結果（学習全般について）

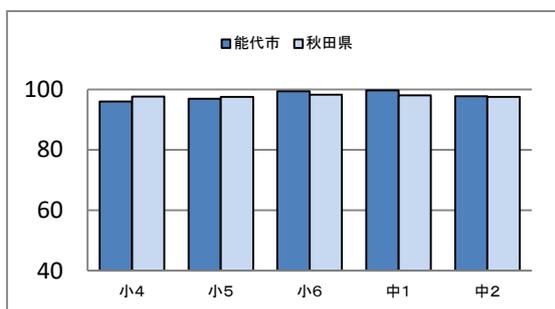
※グラフは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合を示しています。

1 勉強が好きだ



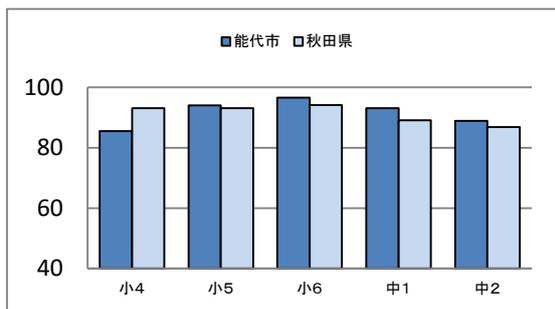
小4で県平均並、小5以上で県平均を上回っています。特に、小6・中1では県平均を10ポイント以上、上回っています。各学校では児童生徒の実態に応じて、興味・関心を高め、必要感のある課題を設定し、児童生徒主体の探究型の授業づくりに取り組んでいることがうかがえます。

2 勉強は大切だ



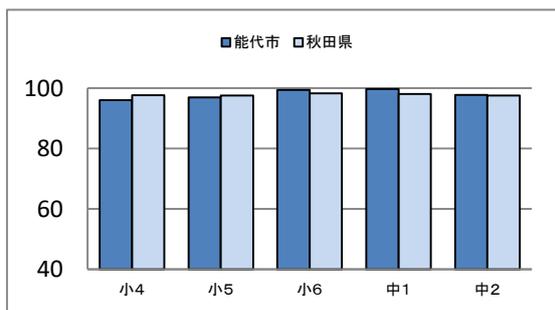
全ての学年で96%以上となっています。特に、小6・中1では99%以上と高い数値を示しています。各学校では、学びの系統性を考え、既習事項を手がかり課題解決の手立てとしたり、教科間のつながりを考慮して年間計画を立案したりしながら、勉強の大切さを実感させる取組をしていることがうかがえます。

3 学校の勉強がよくわかる



小学校では85%以上、中学校では88%以上となっています。各学校では新学習指導要領に示された教科の特質に応じた見方・考え方を働かせるような授業を行い、これまで以上に児童生徒一人一人に応じた質の高い学びの充実を図っていることがうかがえます。

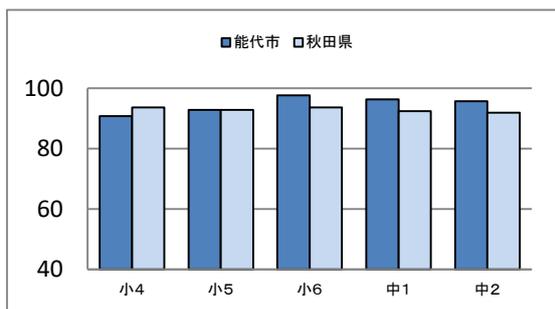
4 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



全ての学年で90%以上となっています。特に、小6・中1では98%以上と高い数値を示しています。各学校では、習得した知識や技能と日常生活や社会とのつながりを意識させるような学習活動の展開にも努めており、学ぶ目的意識をもって勉強している児童生徒が多いことがうかがえます。

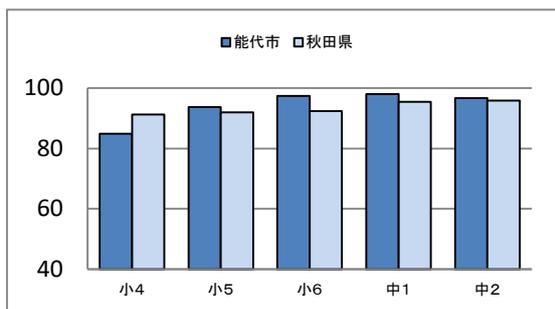
Ⅲ 質問紙調査結果（学校生活について）

1 学校が楽しい



全ての学年で90%以上となっています。特に小6・中1・中2は95%以上となっています。各学校では児童生徒一人一人のよさを伸ばし、制約がある中でも工夫を凝らし、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせることができるよう、日々の教育活動の充実に努めていることがうかがえます。

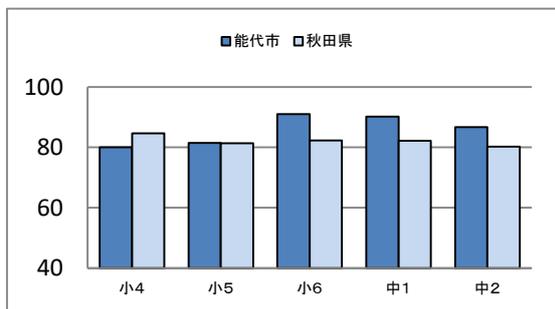
2 学校のきまりを守っている



小5から中2で90%以上となっています。各学校では規範意識を醸成するために、道徳の時間だけではなく、学習活動全般や集団生活の様々な場面で生徒指導の重要性を踏まえた意図的・計画的な指導をしており、きまりやルールの意義や守ることの大切さを意識していることがうかがえます。

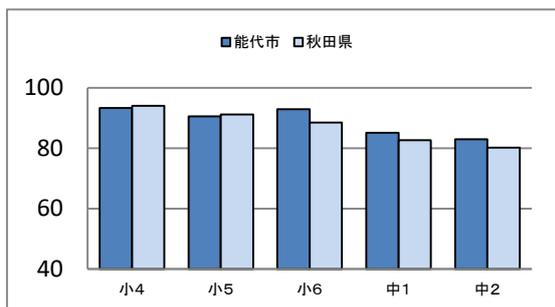
Ⅲ 質問紙調査結果（ふるさと・キャリア教育について）

1 自分にはよいところがあると思う



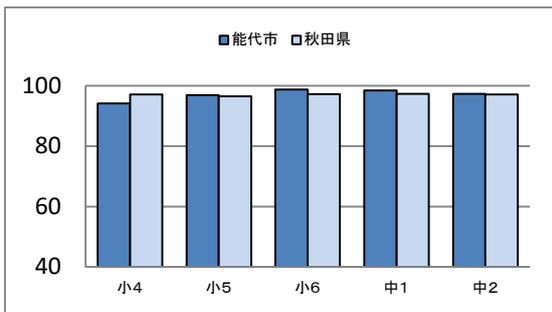
全ての学年で80%以上となっています。特に、小6・中1では90%以上となっています。各学校では自己肯定感を高めるために、個性を伸ばすこと、周囲に認められる場面、目標の設定や満足感を伴う振り返り等で児童生徒一人一人のよさを伸ばそうとする取組の成果がうかがえます。

2 将来の夢や目標をもっている



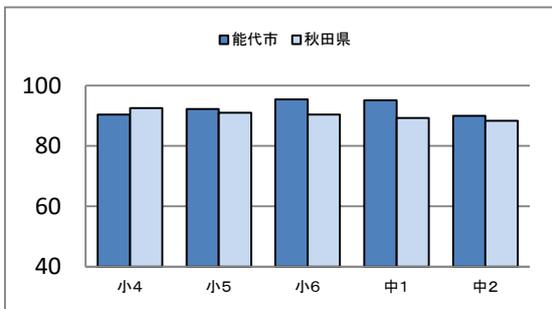
全ての学年で県平均以上か県平均と並ぶ結果となっています。特に、小学校では90%以上となっています。各学校では年齢や発達の段階を踏まえ、職場見学や職場体験、ガイダンス等の進路指導を丁寧に行い、児童生徒一人一人のキャリア発達を適切に支援していることがうかがえます。

3 人の役に立つ人間になりたいと思う



全ての学年で94%以上となっています。特に小6・中1では、98%以上となっています。各学校ではふるさと・キャリア教育や道徳教育等を通し、他者と協働しながら、社会に役立つ行動をしていこうとする児童生徒の育成を目指して意図的・系統的に指導をしていることがうかがえます。

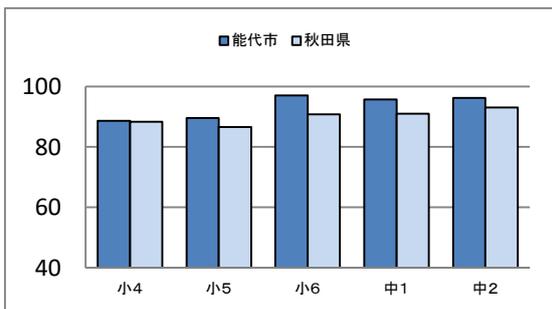
4 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う



全ての学年で90%以上となっています。各学校における継続的で特色ある取組が、地域を支え、創出していこうとする気概、郷土愛や地域社会の発展に貢献していこうとする児童生徒の意欲を高め、それらの活動を地域内外へ適切に発信していることがうかがえます。

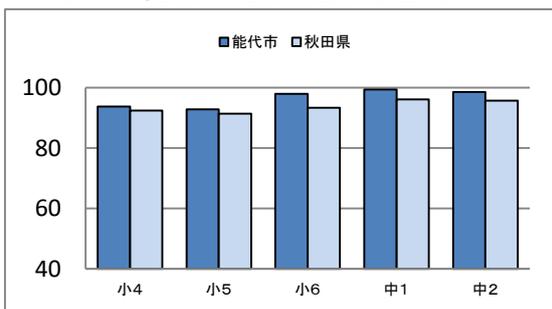
Ⅲ 質問紙調査結果（授業について）

1 ふだんの授業では自分の考えを発表する機会があると思う



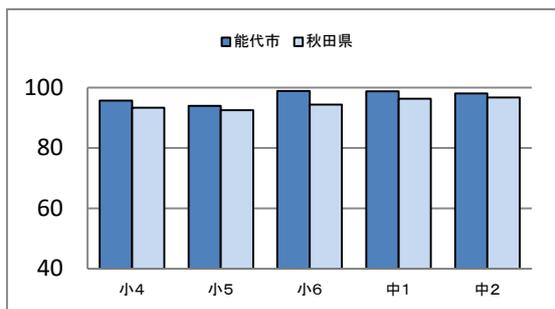
全ての学年で県平均を上回っています。特に、小6・中1・中2では95%以上と高い数値を示しています。各学校では授業づくりの段階から、意図的に、児童生徒が考えを発表する機会をしっかりと設定し、児童生徒が活躍の場を与えられていることを実感していることがうかがえます。

2 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う



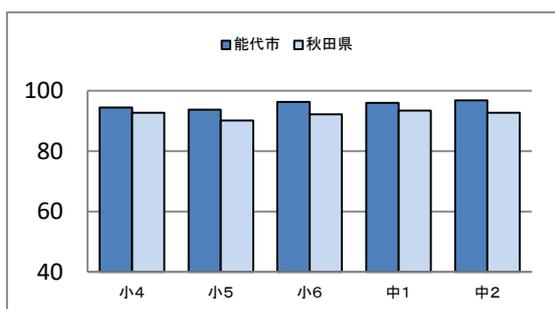
全ての学年で県平均を上回っています。特に小6・中1・中2では98%以上と高い数値を示しています。各学校では、ペアやグループ活動、全体等の学習形態を工夫しながら、話し合いの場を確実に設定するなどしており、児童生徒が話し合いのよさを実感していることがうかがえます。

3 ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



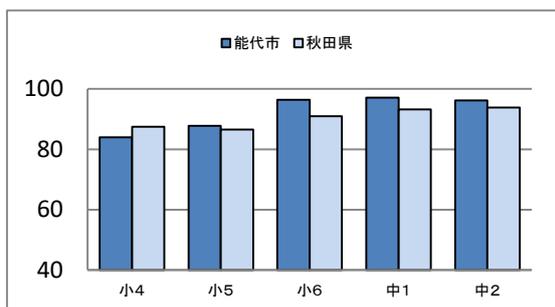
全ての学年で県平均を上回っています。特に小6・中1・中2は98%以上と高い数値を示しています。各学校では、児童生徒が主体的に授業に臨めるよう、実態に応じて興味・関心を高めながら、共に学習課題をつくるなど、学習の見通しをもたせて授業を展開していることがうかがえます。

4 ふだんの授業では、自分の学習活動を振り返る活動を行っていると思う



全ての学年で県平均を上回っています。どの学年も90%以上となっています。各学校では、ねらいをもたせた上で取り組ませ、児童生徒が授業で学んだことや学び方を価値付け、次時の学びにつながる場面として振り返る時間を設定していることがうかがえます。

5 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



全ての学年で80%以上となっています。各学校では、課題に対する自分の考えをもち、話し合う場面を設定し、他者の考えを受けて自分の解釈や考えを伝え合う活動を行うなど、話し合いの質を高める授業を展開していることがうかがえます。